

教科名	国語	科目	古典（進学クラス、理系）	単位	3単位
-----	----	----	--------------	----	-----

1. 教科書および副教材

教科書：『精選古典探究古文編』『精選古典探究漢文編』（東京書籍）〔高2から継続使用〕

副教材：『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ2.5』（数研出版）

『わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語330』（いいずな書店）〔高2から継続使用〕

『基礎から解釈へ 新しい古典文法』（桐原書店）〔高2から継続使用〕

『基礎から解釈へ 漢文必携』（桐原書店）〔高2から継続使用〕

『ステップアップノート30 古典文法トレーニング』（河合出版）〔高2から継続使用〕

『基礎からのジャンプアップノート漢文句法・演習ドリル』（旺文社）〔高2から継続使用〕

2. 授業の目標および内容

『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ2.5』を用いて、古典読解に必要な語彙・文法・句法などの基礎知識を確認しつつ、問題演習を行うことで実践的な読解力を涵養します。また、週1回程度古文単語や文法・漢文句法などの小テストを実施し、基礎知識の定着を図ります。

学年全体で古典領域と総合し、基礎学力到達度テストにおいて全付属校における本校の平均偏差値が53以上となることを目標とします。

3. 試験について

	1学期		2学期	
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月
学力試験	第1回 6月		第2回 9月	

※内容・評価等について

- ① 定期試験：基本的には、使用テキストの授業範囲内のもので作題しますが、応用問題として初見の文章による出題をすることがあります。基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルで100点満点の試験を行います。
- ② 学力試験：基礎学力到達度テストから大学入学共通テスト、一般入試文系大学レベルの出題です。古文と漢文の配点比率は、概ね25：25を基本とし、現代文分野と合わせて100点満点で出題します。全てのコース・クラスで同一問題です。

4. 課題・補習について

課題・補習は、生徒の状況を鑑みて実施します。古語や文法等の小テストに不合格の場合には、再テストまたは特別な課題があります。

5. 評価の視点

定期試験の得点を中心とし、平常点を加味し評価します。平常点は、授業への姿勢や課題の提出状況、授業中の小テストなどを参考に算出していきます。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	〔古文〕 ①問題集を用いた演習 〔漢文〕 ②問題集を用いた演習 〔古文〕 ①問題集を用いた演習 〔漢文〕 ②問題集を用いた演習	〈日大基礎学力到達度テスト前〉 ○古典文法や漢文句法など基礎的・基本的な知識の定着を確認します。 〈日大基礎学力到達度テスト後〉 ○古典文法や漢文句法に加え、和歌の修辭法や漢詩の規則を確認し、正確な読解へと繋げます。 ○問題集は『『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』(数研出版)を中心に、随筆や物語、日記や評論など様々なジャンルの文章を扱い、実戦的読解力を高めます。 ○古典文学史について総括し、暗記する部分や覚え方等について把握します。 ○定期的な古語テストの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れます。	* 『古文単語 330』によって単語テストを実施する。 * 古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小テストを行う。
2	〔古文〕 ①問題集を用いた演習 〔漢文〕 ②問題集を用いた演習 〔古文〕 ①問題集を用いた演習 〔漢文〕 ②問題集を用いた演習	○古典文法や漢文句法など基礎的・基本的な知識の定着を確認します。 ○問題集は『『正しく読み・解くための力をつける古典 ステップ 2.5』(数研出版)を中心に活用し、実戦的読解力を高めます。 ○定期的な古語テストの実施に加え、理解度に応じて古典文法や漢文句法等の復習を取り入れます。	* 『古文単語 330』によって単語テストを実施する。 * 古典文法や漢文の句法については定着度により適宜小テストを行う。